

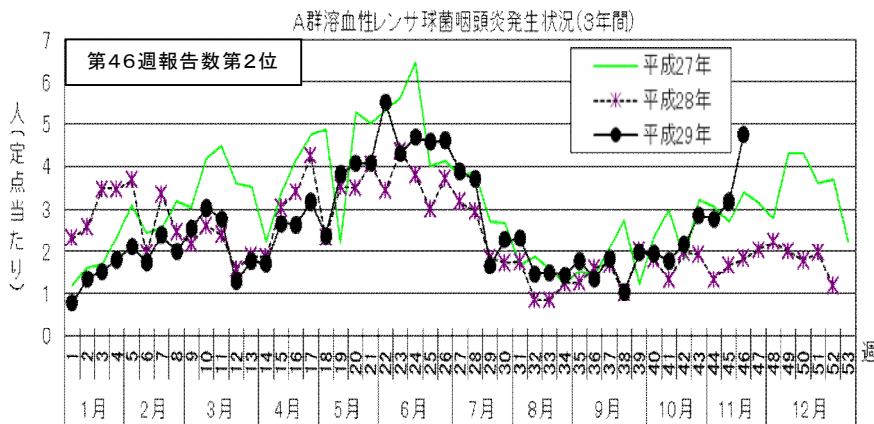
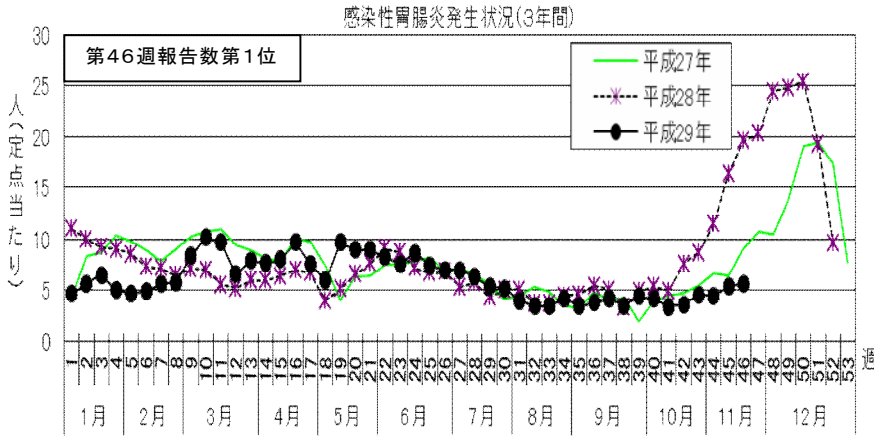
# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年11月13日（月）～平成29年11月19日（日）〔平成29年第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.62人と前週（5.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.76人と前週（3.16人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.54人と前週（2.97人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

★溶連菌 ヨーレンくん★

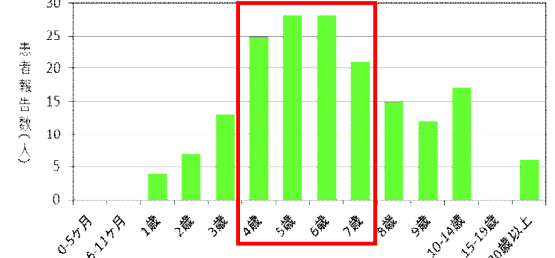


## 患者報告数が急増！～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～

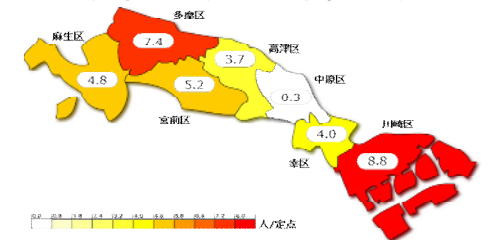
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、春から初夏及び冬季の2回流行がみられる疾患です。通常、患者との接触や患者の咳やくしゃみによって飛び散った病原体を吸い込むことで感染します。

川崎市では、平成29年第46週（11月13日～11月19日）の定点当たり患者報告数が4.76人と前週の3.16人から急増しました。特に川崎区、多摩区からの報告が多く、年齢階級別では、就学前後（4～7歳）の小児で報告が多くなっています。集団施設等で感染を広げないためにも予防対策が重要です。

川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎年齢階級別発生状況(平成29年第46週)



川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎分布マップ(平成29年第46週)



### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

- 潜伏期間  
2～5日間
- 主な症状  
突然の発熱、全身倦怠感、咽頭痛、  
莓舌（イチゴのように赤くポツポツした状態）、  
体や手足に小さくて紅い点状発疹
- 合併症  
猩紅熱、リウマチ熱、急性糸球体腎炎等
- 治療法  
抗菌薬の投与
- 予防対策  
患者との濃厚接触を避ける、手洗い等

